



食の都庄内 かわら版 vol.62

食の都
庄内

“食の都庄内”の魅力を伝えたい”そんな思いからかわら版をお届けします。

Cheer!! 「食の都庄内」を舞台に輝く人からあなたに

vol.12 株式会社花鳥風月

代表取締役 佐藤勇太さん

「食の都庄内」を支える若手料理人やスタッフ、生産者たちの人となりや想いを掘り下げてHPで紹介する企画。
生き生きと活躍する姿を伝えることで、庄内の食に関わる多くの人たちに声援を送り、庄内の“食”に関わる仕事の魅力をお伝えします。

「Cheer」=名詞：声援、元気、ごちそう

佐藤さんは24歳で「酒田のラーメン 花鳥風月」を開業。現在は県内に系列店を含む5店舗を展開すると同時に、「酒田のラーメンを考える会」や山形大学が中心になって進めている「庄内スマート・テロワール」の取組みにも参加し、ラーメンを入り口に酒田・庄内の魅力の発信に努めています。



記事全文は
「食の都庄内」HPで!



◇20歳で突如ラーメンの道へ

高校卒業後は東京にある華調理師専門学校へ入学した。当初は特に和食に興味があったが、いろいろなジャンルを深く学びたいと考え2年間総合科を選択。東京生活も2年目にさしかかった頃、高校時代アルバイトをしていたラーメン屋「ワンタンメンの満月」先代オーナー斎藤省吾さんから、うちで働かないかと声がかかった。アルバイト時代の担当は主に配膳担当だったので、声がかかった時は驚いたが、良いきっかけだと感じ、ラーメンの道に進むことにきめた。

◇地域とラーメンのつながりが新たなイノベーションへ

「酒田のラーメンを考える会」メンバー達の熱い想いに触れ、酒田のラーメンを次世代に向けて広げていくことが自分たちの代の仕事だと思えるようになったという佐藤さん。2023年10月に開催された「日本ご当地ラーメン総選挙」では、酒田のラーメンが見事日本一に輝いた。

現在佐藤さんが最も力を入れているのが「庄内産小麦」の生産と活用だ。「ただ、ラーメンを作るというだけでなく、地域とラーメンがつながることで地域に新しいものを生み出したい。」と力強く語ってくれた。



@wakizaka.mayumi22 さん/こごめのキッシュ

「山形から春の贈り物
『食の都庄内』山菜アンバサダー」を
Instagramで募集し、100名を超える皆さん
から応募いただきました。
その中から10名の方を選定し、山菜の魅力
を発信いただいています。
今回は、その中から一部をご紹介いたしま
す。



@hico_summit さん



@nohara_no_daidokoro さん



@biskes_7 さん
/うるとほたてのカルパッチョサラダ

活動
レポート

「食の都庄内」交流会
～山の恵みを守り・伝え・味わう 庄内の山菜の魅力～

＼試食品の数々♪／

3月11日に開催した交流会では、約120名の
サポーター・協力店の皆さんから参加ありがとう
ございました！

出羽三山神社 羽黒山参籠所 齋館 伊藤料理長
のお話で印象的だったのが、「山菜は無料の野菜で
はない」ということ。

山菜は、何もなくても勝手に生えてくるもの
だと勘違いして、根こそぎ山菜を採取すると、次
の年から生えてこないこともあるそうです。また、
標高の高い山で採取される「月山筍」を収穫する
プロは、シーズンの収穫が終わった後、もう一度
山に登り、来年のことを考えて、混み合っている
ところなどの月山筍を折り、月山筍の生育にふさ
わしい環境づくりをするそうです。

海・里・山の幸すべてに恵まれている庄内は、
奇跡の地域。山菜は山の宝物だと改めて感じさせ
られました。

様々な取組みがご覧になれます！



「食の都庄内」公式 Facebook + Instagram + X



最新の情報は
公式SNSで！
フォローしてね♪

令和6年4月1日発行
発行/「食の都庄内」ブランド戦略会議
<https://syokunomiyakoshounai.com/>
(事務局：山形県庄内総合支庁地域産業経済課内)
TEL：0235-66-5490 FAX:0235-66-4728